

連結決算説明 (平成23年3月期)

(株)クボタ 常務執行役員 企画本部長

木村 茂

平成23年 5月18日(水)

平成23年3月期連結決算概要

(億円)	23年3月期(末)	22年3月期(末)	増減		決算予想対比	
	金額	金額	金額	%	金額	%
売上高	9,337	9,306	30	0.3	263	2.7
国内	4,779	5,017	238	4.7	171	3.5
海外	4,558	4,290	268	6.2	92	2.0
営業利益	9.2% 861	7.5% 697	164	23.5	39	4.3
当社株主に帰属する 純利益	5.9% 548	4.5% 423	125	29.5	28	5.4
総資産	13,569	14,090	522	3.7		
株主資本	6,349	6,264	85	1.4		



- ▶ 売上高への影響額： 105億円
 - 機械事業に係る子関連会社のほとんどが暦年ベース【12月末】での連結組入のため、23年3月期への影響は軽微
- ▶ 営業利益への影響額： 70億円

業績影響額の内訳

	売上高への影響額	営業利益への影響額	業績影響額の内訳						
			減販	震災関連損失	減産	修繕費	廃却	貸倒引当金	義捐金等
機械	84	56	38	17	7	1	0	10	-
水環境	11	7	5	3	1	-	1	-	-
社会	10	4	3	1	0	1	0	-	-
その他・調整	-	4	-	4	-	0	-	-	4
計	105	70	45	25	8	1	2	10	4

事業セグメント別売上高

(億円)		23年3月期	22年3月期	前期比増減	
				金額	%
	機械	6,515	6,167	348	5.6
	国内	2,264	2,296	33	1.4
	海外	4,251	3,871	380	9.8
	水・環境システム	1,928	2,229	302	13.5
	国内	1,787	1,981	194	9.8
	海外	141	249	108	43.3
	社会インフラ	604	633	29	4.5
	国内	443	470	27	5.8
	海外	162	163	1	0.7
	その他	290	277	13	4.6
	国内	286	269	17	6.2
	海外	4	8	4	50.1
	売上高合計	9,337	9,306	30	0.3
	国内売上高	4,779	5,017	238	4.7
	海外売上高	4,558	4,290	268	6.2

事業セグメント別売上高(前年比)

▶機械 + 348億円(国内: 33 海外: + 380)

国内: エンジン・建機は大幅増。農機が減

海外: エンジン、建機、作業機は大幅増。トラクタも増

地域別では、北米、欧州は2桁増。アジアも成長継続

▶水・環境システム 302億円(国内: 194 海外: 108)

国内: パイプ関連、環境関連ともに大幅減

海外: 鉄管は中東向けの一服により大幅減。ポンプも大幅減

▶社会インフラ 29億円(国内: 27 海外: 1)

国内: 鋼管、素形材、自販機などが減

▶その他 + 13億円(国内: + 17 海外: 4)

国内: 工事、サービスが増

(億円)	23年3月期		22年3月期		増減	
	金額	%	金額	%	金額	%
営業利益	861	9.2	697	7.5	164	23.5

営業利益増(+164億円)の主な要因

1. 為替変動(円高)	米ドル(94円 88円) ユーロ(130円 116円) 他通貨(パ'ツ、加ドル、英ポ'ンド等)	100億円 50億円 10億円	} 160億円
2. 原材料費	機械(買入部品 他) 水・環境(鉄スクラップ 他) 社会(コイル他)	+50億円 20億円 +10億円	} +40億円
3. 震災関連損失(特殊要因)			25億円
4. 年金一時費用の消滅(特殊要因)			+88億円
5. 構成差(部門・地域)ほか			+221億円

事業セグメント別営業利益

特殊要因を除いた営業利益

(左肩は利益率)

(億円)	23年3月期			22年3月期			実績 営業利益 増減	修正後 営業利益 増減	売上高 増減
	実績	特殊要因 (注1)	修正後 営業利益 = -	実績	特殊要因 年金費用 (注2)	修正後 = -			
機械	13.3% 865	17	13.5% 882	9.8% 605	45	10.5% 650	260	232	348
水・環境	6.8% 131	3	7.0% 134	8.8% 197	25	10.0% 222	66	88	302
社会	4.1% 25	1	4.3% 26	4.3% 27	10	5.9% 37	2	11	29
その他	7.2% 21	0	7.3% 21	9.5% 26	0	9.5% 26	5	5	13
調整	181	4	176	158	7	152	22	25	
計	9.2% 861	25	9.5% 887	7.5% 697	88	8.4% 785	164	102	30

(注1) 震災関連損失。

(注2) 年金費用の増加額。



その他の収益(費用)

(億円)	23年3月期	22年3月期	増減
	金額	金額	金額
その他の収益(費用)	52	38	14



(内訳)

金融収支	18	13	5
有価証券売却損益	48	18	30
有価証券評価損	18	1	16
有価証券交換益	28	-	28
為替差損益	16	29	45
その他	8	20	12

4/1付で旧ニッセイ同和損害保険株がMS&ADインシュアランスグループホールディングス株に交換

税金等調整前純利益・純利益

(億円)	23年3月期		22年3月期		増減	
	金額	%	金額	%	金額	%
税金等調整前純利益	913	9.8	735	7.9	178	24.2
法人所得税	307		260		47	
(実効税率)	(33.6%)		(35.4%)			
持分法による投資損益	5		4		1	
非支配持分控除前純利益	611	6.5	479	5.1	132	27.6
非支配持分帰属損益(控除)	63		56		7	
当社株主に帰属する純利益	548	5.9	423	4.5	125	29.5
1株当り配当	14 円		12 円		+ 2 円	
配当性向	32%		36%		4ポイント	

貸借対照表(資産)

(億円)	23年3月期末	22年3月期末	増減
流動資産	7,772	8,208	436
現金及び預金	1,053	1,114	61
受取債権	3,536	3,721	185
短期金融債権	1,004	1,048	44
たな卸資産	1,742	1,723	19
その他の流動資産	436	602	165
投資及び長期金融債権	3,169	3,217	48
長期金融債権	1,998	1,965	34
その他	1,171	1,253	82
有形固定資産	2,174	2,209	35
その他	454	456	2
資産合計	13,569	14,090	522

金融債権 計	3,003	3,013	10
---------------	-------	-------	----

<ご参考> 期末日レート

			(円)
米ドル	81	92	11
ユーロ	108	132	24



貸借対照表(負債)

(億円)	23年3月期末	22年3月期末	増減
流動負債	4,351	4,402	51
短期借入金	766	883	117
営業支払債務	1,648	1,579	69
一年内長期債務	856	714	141
その他(短期)	1,081	1,225	144
固定負債	2,404	2,972	568
長期債務	1,918	2,433	516
未払年金等	353	402	49
その他(長期)	133	137	3
負債合計	6,755	7,374	619
有利子負債	3,540	4,031	491

貸借対照表(資本)

(億円)	23年3月期末	22年3月期末	増減
株主資本	6,349	6,264	85
資本金	841	841	-
資本剰余金	891	892	1
利益準備金	195	195	-
その他の剰余金	5,169	4,773	396
その他の包括損益累計額	654	345	309
外貨換算調整勘定	657	422	235
有価証券未実現損益	159	211	51
年金負債調整額	148	117	31
デリバティブ未実現損益	8	16	8
自己株式	93	93	1
非支配持分	465	452	13
純資産合計	6,814	6,716	97

キャッシュ・フロー計算書

(億円)	23年3月期	22年3月期	増減
営業活動による純キャッシュ・フロー	819	1,191	372
固定資産の購入	274	266	7
その他	162	168	6
投資活動による純キャッシュ・フロー	436	434	2
財務活動による純キャッシュ・フロー	417	347	70
為替変動による現金及び現金同等物への影響	27	9	37
現金及び現金同等物の増減額	61	419	481
フリーキャッシュ・フロー	545	925	379

業績予想は現時点では開示しない

「不透明要因」

1. 部品・電力

- ▶ 部品(特に電子部品)の調達難
- ▶ 電力:事業者に対する夏季(7~9月)の電力節減要請

目処は付きつつあるが、慎重を期し影響を見極め

2. 被災県での農機関連事業

- ▶ 福島、宮城、岩手県での農業事業の見通しが立たない

3. その他

【海外市場】各地域、各製品で増収を見込む

- ▶ **トラクタ** : 北米が回復傾向を維持
欧州・アジアも増収
 - ▶ **建機** : 2桁増を継続
 - ▶ **エンジン** : OEM先の需要堅調
排ガス4次規制を契機に大幅拡大を狙う
 - ▶ **作業機** : 普通型コンバイン、田植機の拡販
-
- ▶ **足元の状況**
 - ▶ 1～3月は小売ベースで前年同期比2桁増

【国内市場】引き続き厳しい状況を想定

- ▶ **機 械**: 建機、エンジンは拡大を予想
農機は被災地域を中心に縮小を見込む
- ▶ **水・環境**: 官公需関連の市場拡大は望みにくい
年度後半での復興需要の発生
現時点では見通せず
- ▶ **社会インフラ**: 厳しい状況を見込む
鋼管は土木関連の復興需要期待
一方自販機は逆風

売上高：生産面（特に機械）の支障がない限り
前期比での増収は可能

営業利益：

1. 為替変動（円高）

米ドル（前年実績：88円） …… ±1円変動で ±13億円
ユーロ（前年実績116円） …… ±1円変動で ±3億円

2. 原材料価格上昇懸念

機械（買入部品 他）
水・環境、社会（鉄スクラップ、レジソ他）

3. 生産効率の悪化

部品、電力の状況に依存

4. 特殊要因

想定していない

<参考> 設備投資・減価償却費・研究開発費

(億円)	24年3月期予想	23年3月期実績	22年3月期実績
設備投資	340	240	260
減価償却費	308	265	289
研究開発費	260	250	252

本資料で記述されている業績予想ならびに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

Kubota

For Earth, For Life